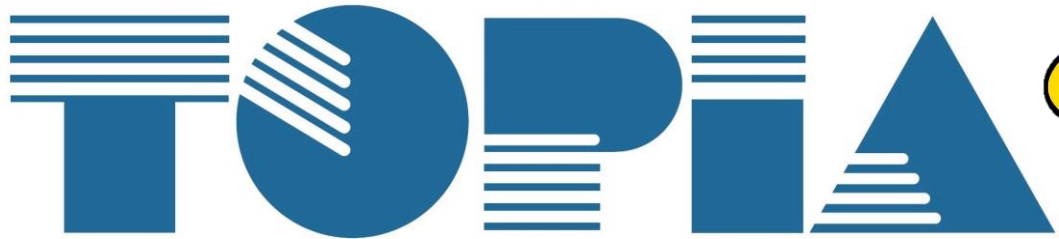


とくしま国際戦略センター



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

2022.05

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

理事長就任挨拶

公益財団法人徳島県国際交流協会
理事長 三好 誠治



本年4月1日から、新しく、公益財団法人徳島県国際交流協会理事長に就任しました、三好誠治です。

これまで、36年間、徳島県庁で勤め、財政・保健・福祉・医療・危機管理・監査等、様々な仕事に就いてきました。これまでの行政経験を活かし、この国際理解・多文化共生の分野において、少しでも皆さんのお力になれるよう頑張りますのでどうかよろしくお願いします。

さて、皆様におかれましては、日頃より、当協会の運営並びに事業推進に、格別の御理解と御協力をいただいていることを心から厚くお礼申し上げます。

ご承知のように、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、人の移動が制限され、海外との交流事業が中止されるなど、コロナの影響を大きく受けております。

当協会においても同様、「あらそわ連」による阿波おどりや、「ホームステイ・ホームビジット事業」など、対面での国際交流事業は、やむなく中止せざるをえませんでした。しかしながら、「日本語弁論大会」は、関係者だけに限って実施するとともに、「日本語教室」や各種セミナーはオンラインにより開催するなど、リアルとオンラインを組み合わせることで、多文化共生に向けた歩みを着実に進めて参りました。

また、「多言語相談窓口」には、たくさんのご相談をいただいております、在住外国人の生活環境の改善に一定の役割を果たすことができているのではないかと考えているところであります。

これもひとえに、皆様方のご支援の賜物であり、改めてお礼を申し上げます。

また、2月末から始まった、ロシアのウクライナ侵攻により、世界は混乱し、不透明感が漂っています。今後、県内経済や、在住外国人の方への影響も懸念され、早く終息することを願うところですが、一方で、2025年には、大阪・関西万博が、開催されようとしています。

世界の平和を願いつつ、こうした機会を捉え、徳島が外国人の暮らしやすい地域となることはもちろんのこと、徳島の魅力を世界に発信し、多くの方に訪れていただけるよう、各種事業を精力的に進めてまいります。

皆様方には、引き続き、御指導・御協力をお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。

公益財団法人徳島県国際交流協会 令和4年度事業計画

外国人との共生社会実現に資する事業

当協会は、県内国際交流・協力の中心的な役割を担い、県や市町村、民間団体などと連携し、在住外国人が県民とともに安心して生活するための相談や、訪日外国人観光客などを含めた在県外国人への情報提供及びコミュニケーション支援を実施することにより、多文化共生のまちづくりを推進します。

また、国際交流・協力及び多文化共生に関する様々な情報を収集・提供することにより、県民への意識啓発を図るとともに、異なる文化や歴史、生活習慣、価値観などを理解し、人権や多様性を尊重する国際感覚豊かな人材を育成します。

さらに、とくしま国際戦略センターの運営を柱に、外国人との共生社会実現に資する事業を実施します。

※新型コロナウイルスの感染状況により、
各種事業に変更が生じる場合があります。

阿波おどり交流事業

時期：未定

- 留学生や英語指導助手並びに在住外国人と県民による「あらそわ連」を組織し、伝統的な郷土文化である阿波おどりを共に楽しみ、相互理解を深め、国際親善及び協力を図ります。

ホームステイ・ホームビジット受入事業

時期：未定

場所：徳島県内

- 徳島県在住の留学生を対象に1泊2日のホームステイ、日帰りのホームビジットを実施し、地域での国際交流と相互理解の促進を図ります。受け入れに興味のある方はお問い合わせください。

とくしま多文化共生推進事業

外国人支援のための各種ボランティアの募集・養成を行い、ボランティア活動を支援することにより、県民の皆様の国際理解と官民協働の国際交流・協力活動を深め、本県の多文化共生を推進します。



国際理解支援講師派遣



防災センタースタディツアー



日本語弁論大会



外国人総合相談窓口

● ONE WORLD こども支援事業

世界の未来を担う子どもたちに、様々な国の人達との交流体験を通して、国際社会の一員としての自覚を促し、異文化交流や国際理解及び国際協力への意識の醸成を図るための支援事業を行います。

● 外国人による日本語弁論大会

時期：令和4年7月24日（日）（予定）
スピーチの部：13：30～16：30
場所：あわぎんホール 5階小ホール

県内在住外国人から参加者を募り、日本語での弁論とともに会場参加者との意見交換や交流会を行い、異文化理解、多文化共生の促進を図ります。（コロナ禍のため関係者のみでの開催予定）

● 地域外国人日本語支援事業

県内各地で日本語教室を開催し、在住外国人のために日本語支援を実施することにより、外国人を社会の一員として受入れ、平時・有事を問わず、安全・快適に暮らすことのできる多文化共生のまちづくりを推進します。



日本語教室



国際理解支援フォーラム

● 地域外国人相談支援事業

外国人材受入拡大に伴い、言葉や生活習慣の違いなどからトラブルが生じる恐れがあります。また、地震や豪雨等の自然災害における、外国人の支援体制の脆弱性が全国的に指摘されていることから、地域の外国人からの相談に対する各種支援を行います。

● とくしま国際戦略センター運営事業

（公財）徳島県国際交流協会（TOPIA）を核として、県民、行政、関係機関の力を結集し、海外交流や地域貢献など多様なニーズに対応する「ワンストップ情報受発信拠点」を運営し、県内在住外国人の生活利便性の向上に寄与し、「地域の国際化」を支援します。

● 外国青年招致事業

● 情報誌「AWA LIFE」及び「阿波生活」の発行

● 機関誌「とくしま国際戦略センター・TOPIA」の発行

● 外国人観光客案内事業

● 旅券発給補助事業

お知らせ

ベトナム語の相談時間の変更

令和4年度からベトナム語相談員による相談時間が以下のとおり変更になります。

●月・水・木・金曜日 10:00～14:00
●土・日曜日・祝日 10:00～18:00

英語、中国語の相談時間は毎日10:00～18:00です。



TOPIA ニューフェイス

この3月に当協会前理事長を初めとする5名の方たちがTOPIAでの任期を終えられました。在任中は徳島県の多文化共生推進などに努めていただきました。これからの益々のご活躍を祈念しております！新しく着任いたしました後任者の方たちのご紹介をいたします。

新地域外国人コーディネーター
長田 有加里

皆様、はじめまして。4月から地域外国人コーディネーターを勤めます、長田有加里と申します。4人の多言語窓口相談員（英語・中国語・ベトナム語対応）と共に、皆様が徳島で暮らしやすく、活躍できる環境づくりに取り組んでいきます。

私はこれまで国際協力に携わり、セネガル・シエラレオネなど主にアフリカで10年以上暮らし、地域開発（Community development）の仕事をしてきました。地域をよくするためには、そこに住む一人一人が『地域をこう良くしていきたい！』という想いを持ち、皆で考えや力を合わせていくことが大事であり、それは世界どこでも共通のことだと思っています。私が言葉・文化・仕事の仕方などが異なる環境で、楽しく充実した生活・仕事をしてこられたのは、私を友人として、同僚として、家族として受け入れてくれた現地の方たちがいたからだ実感しています。今度は、私が外国からの方々を受け入れる番です。

“徳島に来てよかった”という声が広がることを目指して、縁あって徳島にいられた外国の方の声に耳を傾け、また徳島の地域の人々へは徳島と世界との繋がりを伝え、徳島の多文化共生社会の推進に取り組んでまいります。国・言葉・文化を越えて皆が共生できるこれからの“多様性のある”徳島の地域づくりに向け、ぜひ皆様のご意見をお聞かせいただけますと幸いです。



新長期社会体験研修生
紀本 真理

みなさん、はじめまして。この度、長期社会体験研修生として、TOPIAでお世話になることになりました紀本真理と申します。

海外のドラマや映画、歌、食べ物など様々な事に興味を持っています。

今、世界はコロナの拡大や、戦争に伴って危機感を抱えています。そして差別意識もますます増えていき、そうした問題を身近なものだと感じるようになりました。そこで、私自身ができることを考え、世界にもっと目を向けて国際理解を深めたいです。

TOPIAに来て驚いたことは、国際色豊かなところですよ。多文化理解、多文化共生についても学び、貴重な経験を踏んで、外国や日本の良さを子どもたちに伝えていきたいです。よろしくお願い致します。



一般財団法人自治体国際化協会徳島県支部臨時職員
今井 史枝

はじめまして。4月から働かせていただいている今井史枝です。

もともと海外が大好きで、今までたくさんの国々を訪問してきました。現地の空気感を感じながら過ごすのがとても好きです。特に、数年前に経験した約1年間のニュージーランドへのワーキングホリデーで自分の世界観が変わりました。世界中の人々と交流することで自分の世界も広がるということを実感しました。



最近徳島に住み始めたのですが、ここ徳島は、自然が多く、人もやさしくて、穏やかでとても住みやすい街だと感じています。眉山、ひょうたん島クルーズ、鳴門の渦潮、足を伸ばして大歩危小歩危など、観光で楽しめる場所もたくさんあります。街を歩くと阿波おどりを感じられるものに出会うことも出来ます。

海外渡航中、出会った外国の方との話の中で、日本の中で徳島に行ったことがあるという方にも出会いました。ラフティングなどのアクティビティが世界でも有名だそうです。それだけ魅力のある街だと思っています。

普段なかなか国際交流をする機会がない方にも、何かをきっかけに世界を広げられるようにお役に立ちたいと思っています。一緒に一歩踏み出してみましょう。よろしくお願いします。

新ベトナム語多言語窓口相談員

ノン ティ ホア

はじめまして。今年4月からベトナム語窓口相談担当になるノン ティ ホアと申します。私はベトナムで高校を卒業してから留学生として2015年10月に日本へ来ました。兵庫県で3年半日本語学校や専門学校に通っていました。勉強を続けるため、2019年4月に徳島県に引っ越しをし、四国大学に入学しました。以前、いつも学校に遅れていた私は、長年日本で生活することで、時間を守ることや仕事中美にやる意識は不可欠だと理解でき、いつも心掛けるようにしました。これからTOPIA で新しい経験が、自分自身にステップアップに繋がる貴重な機会だと思います。そして、日本で6年間経験したことを活かしてTOPIA でベトナム人のサポートに貢献したいと思っています。

新ベトナム語多言語窓口相談員

グエン ヴァン タイ

初めまして。タイと申します。ベトナムのホーチミン市は私の出身です。来日してから、岡山市で日本語を2年間勉強していました。大学生活を始めて、徳島市に引っ越ししました。徳島市について最初の印象は川が多く、海岸が長い町です。泳ぐことが好きな私はここでの生活をととても楽しみました。

私の趣味は料理することです。ベトナムの料理だけでなく、色々な国の料理を作りたいです。最近は和食に興味を持っていますので、お好み焼き、豚汁、うどん、寿司などのレシピをよく調べて、作ってみました。いいことに、一発で成功して美味しく食べました。わたしには、料理をすることがとても効果的なストレス解消方法です。嬉しくない時に、自分で作った美味しい料理が食べられたら、気持ちがよくなるのはもちろん、自信とやる気も取りもどすこともできます。これから、日本人からより多くの和食のレシピと調理技術を学びたいと思っています。

公式Facebookページを開設しました！

当協会では、今後Facebookを活用して、皆様との交流を深めていきたいと考えております。



徳島県内地域日本語教室の案内動画を作成しました

徳島県内地域日本語教室を県民の皆様にご案内するために動画を作成いたしました。ぜひ、ご覧ください！



～県内国際交流団体活動紹介～ **徳島県青年海外協力協会 (TOCA)** *Tokushima Overseas Cooperative Association*

私たちは、主に徳島県在住のJICA海外協力隊経験者による任意団体です。
青年海外協力隊などによる、『OV (Old Volunteer) 会』と一般的に呼んでいます。



JICA海外協力隊とは？

JICA (Japan International Cooperation Agency) により発展途上国に派遣され、現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に貢献する活動を行います。帰国後は、日本をはじめ様々な国や分野で、経験を生かした貢献が期待されています。

JICA海外協力隊経験者は、派遣された国の言葉を話し、文化・習慣に適応しながら、現地の人と共に生活し、現地の課題を解決するために仕事に取り組んだ経験を有しています。グローバル化が進み世界の国が密接に繋がる今日、私たちの経験を生かし、世界の国の実情や文化について伝えたり、地域の多文化共生につながる活動を展開したりして、徳島での国際交流・協力に取り組んでいます。

『OV会』による徳島での活動事例の紹介



【パネル展の開催】

派遣された国と協力隊としての活動、そして帰国後の仕事・活動について紹介 (写真：2021年8月/徳島県総合教育センターにて開催)



【多文化理解市民セミナー】

阿波市国際交流の会にて、ガーナで活動した2名がガーナの国紹介、隊員活動体験談、そしてガーナ料理教室を行いました。(写真：2021年10月/阿波市「アエルワ」にて)



メニューは、炊き込みご飯のような**ジョロフライス**、**オクラスープ**、**ゆで卵&シト** (スパイシーな調味料)。鮮やかなオレンジ色の**パームオイル**をふんだんに使います。

【高校生対象 多文化・国際協力セミナー】

協力隊活動体験談、地域外国人の方との交流などを通じ、私たちができる国際協力について考えました。(写真：高校生サマーキャンプ/上勝町)

昨今、徳島でも外国人、外国にルーツのある方が増え、約110人にひとりが外国人住民となっています。中でもアジア地域出身者は9割以上であり、発展途上国出身者も含まれます。外国人＝英語・白人とのイメージが未だ先行しがちな中、彼らの中には日本社会で生きづらさを感じる人がいるかもしれません。私たち協力隊経験者は、日本と開発途上国との関係や彼らの国・文化を紹介するなどし、様々な外国からの方と国・言葉・文化を越えて共生できる社会づくりに貢献していきたいと思っています。ぜひ、私たちの活動にご参加ください！

JICA徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

■JICA四国国際協力出前講座

開発途上国の実情や日本との関係、国際協力についてJICA海外協力隊経験者を講師として紹介します。

《対象》

学校の総合学習の中で / 地方自治体でのボランティア養成講座で / 講演会や研修会での講義で

《内容》

- ・ 開発途上国の文化や生活を知る
- ・ 開発途上国の暮らしから自分たちの生活を見つめなおす
- ・ 国際協力の仕事について知る

■国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

次の世代を担う中学生・高校生を対象に開発途上国の現状と開発途上国と日本との関係について理解を深め、一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として実施しています。

○2022年度 募集テーマ

「世界とつながる私たち

ー未来のための小さな一歩ー」

○募集期間（予定）

2022年6月7日(火)～2022年9月11日(日)

■JICAの支援メニュー紹介：JICAでは、日本の地域で発展してきた技術や経験を開発途上国の発展にも活用し、国際協力を通じて地域の活性化や国際化にも貢献していきます。

◆JICA海外協力隊事業

開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考・訓練を経て派遣します。帰国後もグローバル人材としての活躍が期待されています。

【募集期間】2022年5月20日(金)から6月30日(木)まで募集に関する詳細は、JICA海外協力隊ホームページをご覧ください。

【募集説明会】

日時：2022年5月29日(日) 14:00～16:00

場所：あわぎんホール 5階 会議室

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

◆草の根技術協力事業

技術協力を通じて途上国の方々の生活改善を支援しています。

【事業提案の応募は、以下の3コース】

○草の根協力支援型（3年以内、1,000万円以内）

○草の根パートナー型（3年以内、1億円以内）

○地域活性化型（3年以内、6,000万円以内）

<https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>

◆研修員受入事業

開発途上国からの研修員が日本の知識、経験を学んでいます。大学・地方自治体・民間団体などの協力を得て、四国の特性を活かした四国ならではの研修を実施しています。

◆民間連携事業

四国の技術を世界へ！民間企業の技術やノウハウと途上国の開発課題のマッチングを通して、民間企業の海外進出を支援する中小企業・SDGsビジネス支援事業を実施しています。また、JICA海外協力隊活動を通して、社内のグローバル人材育成を支援するJICA海外協力隊（民間連携）プログラムを実施しています。

それぞれのプログラムの詳細は、JICA民間連携事業HP(https://www.jica.go.jp/priv_partner/index.html)をご覧ください。

◆開発教育支援事業

地域や学校の皆さんと世界を学びます。

・ 教員向けJICA地球ひろば「先生のお役立ちサイト」学習指導案・写真・映像・パンフレットデータ・教材

・ 教師海外研修

・ 教員のJICA海外協力隊への現職参加

・ 協力隊経験者による出前講座

※詳細は、JICA四国HPをご覧ください。

JICA徳島デスクでは、いつでも皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

デスク：徳島県国際交流協会（TOPIA）内、徳島県国際協力推進員：森

TEL：088-656-3303 Email：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

JICA四国HP：<https://www.jica.go.jp/shikoku/index.html>

※（注）派遣国の政治・治安情勢や感染症を含む自然災害の状況により、事業実施を見合わせる場合があります。

「とくしま外国人支援ボランティア会員」

＊募 集 中＊

徳島には約80か国、約6,600人の外国人の方が住んでおり、2019年4月からの「外国人材の受け入れ拡大」などにより、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページの「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受けることができ、賛助団体は会議室の予約を3か月前から申し込むことができます。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい 人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。リモート講義についても御相談ください。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

徳島県外国人総合相談窓口



徳島県で生活する外国人のみなさんが、暮らしやすい地域社会を目指し、外国人総合相談窓口を開設しています。当協会では英語、中国語、そしてベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事や子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に来所いただくか、お電話いただければ対応させていただきます。

開所時間：10：00～18：00（年末年始を除く）

場 所：とくしま国際戦略センター

（公益財団法人徳島県国際交流協会）

多言語対応：

（1）多言語（英語・中国語・ベトナム語）相談員の配置

英語・中国語の相談日時：毎日10：00～18：00

ベトナム語の相談日時：

月・水・木・金 10：00～14：00

土・日・祝日 10：00～18：00

（2）電話通訳システムの導入

（通訳事業者、行政機関も交えて4者間で相談できる）

【対応言語】21言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語
- ⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語
- ⑪クメール語 ⑫モンゴル語 ⑬ポルトガル語
- ⑭スペイン語 ⑮フランス語 ⑯ドイツ語
- ⑰イタリア語 ⑱ロシア語 ⑲シンハラ語
- ⑳ベンガル語 ㉑ヒンディー語

（3）映像通訳システムの導入

（相談者・相談員と通訳者との対面相談に対応）

【対応言語】8言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤タイ語 ⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語
- ⑧ロシア語

（4）対面式通訳機（ポケットク）の導入（74か国語）

（5）多言語翻訳アプリ（ボイストラ）の導入

相談専用TEL：088-656-3312、088-656-3313

相 談 料：無料（ただし、電話代は自己負担となります）

問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6F

開所時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00

閉所日：12月29日～1月3日

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>